



雪舞う中で桜の名所づくり

2月13日、秩父鉄道行田市駅北側の忍川で、忍の川づくり植樹祭が開催されました。

これは、埼玉県が取り組む水辺再生100プランとして実施されている忍川の護岸整備の一環で、市民、県、市などで組織された「忍の川づくり懇談会」により忍川堤の桜を復活させたいとの提案を受けて行われたものです。雪が降る中、行田さくらロータリークラブから寄付された桜の苗木が、地元住民らの手で一本一本丁寧に植えられました。

大切な文化財を火災から守るために

1月24日、埼玉にある前玉神社^{きまたま}で文化財防火週間に合わせ文化財防火消防訓練が実施されました。

境内からの出火を想定した訓練では、地元の自治会や消防団、消防ボランティアレディーズ隊らが文化財に見立てた箱を搬出したり、バケツリレーを行ったりするなど、初期消火に努めました。その後、消火器による消火訓練やてんぷら鍋の消火訓練などを行った参加者は、大切な文化財を火災から守ろうという意識を新たにしました。



あゝ 藍染めでオリジナルのハンカチ作り

2月14日、気軽に藍染めが体験できる工房として4月開設予定の牧禎舎^{まきていしゃ}(忍1-4-11)で、NPO法人ぎょうだ足袋蔵ネットワークと行田まちづくり実践ネットワーク共催のプレオープンイベントが開催されました。

ものづくり大学生による自由でユニークな蔵の改修提案発表に続き、藍染体験会が行われました。少々戸惑いながら藍甕^{がめ}に見立てたバケツに手を入れた参加者は、指導者のアドバイスを受けながらオリジナルの模様の藍染めハンカチを作っていました。



行田西ミニバスケットボールチームが 県大会優勝

1月10日から31日まで、全183チームが4ブロックに分かれて行われた平成21年度埼玉県ミニバスケットボールトーナメント大会理事長杯で、行田西ミニバスケットボールチームが優勝し、その報告のため同チーム6年生7人が2月17日に市役所を訪問しました。

西小学校と泉小学校の女子児童で構成されている同チームは、日ごろの練習の成果を発揮し、抜群のチームワークで見事ブロック制覇。選手らは「みんなで勝ち取った優勝なのでうれしかった」などと心境を語りました。

